

消防防災センターの整備による防災・減災対策の推進(四国中央市)

【取組概要】

市内の防災・減災拠点として整備していた消防防災センターが平成26年度に完成した。

消防防災センターは、今後発生が予想されている東南海地震時も支障なく防災活動に対応できる拠点施設とするため、免震構造の機能を有するとともに、緊急時の対応力強化のため高機能指令センターを整備している。

また、防災対策、自主防災活動、災害図上訓練及び被災地派遣職員からの被災地の現状などを一般住民団体や学校、事業所などへまちづくり出前講座を年間約60回(約3,000人受講)行っているが、今後は施設内に整備した防災学習コーナーを活用し、更に充実したものとしたい。

人口 90,778 人

安全・危機管理課

事業実施期間 平成23~26年度

<https://www.city.shikokuchuo.ehime.jp/sos/hikikara/kikakuzaimubu/sbs/bousaikanren.html>



完成した消防防災センター

【取組のポイント(特徴・先進性・特色など)】 【今後の構想や、他団体との連携の可能性】

消防防災センターの整備に合わせて、市の消防体制の見直しを行っている。

消防本部・消防署と三島分署を統廃合し、川之江、土居分署を東分署、西分署とした。また、これまで未耐震で老朽化していた施設だった土居分署を土居庁舎に併設、新宮分遣所も移転新築するなど効率化と防災体制の強化充実を図ってきた。

大規模災害への対応として、県内及び近隣自治体と消防防災センターを核とした連携、体制づくりを見直す。



親子を対象とした防災クイズ